

被災県立病院の医療支援受入状況について

1 被災県立病院における診療体制及び患者数の状況について

(常勤医師数：H24.12.1現在)

病院	常勤医数		1日平均患者数		備考
	正規	臨時	入院	外来	
高田病院	8	2	31 [4] (49)	230 [174] (195)	・常勤医師のうち、震災対応により採用した医師は3名。 ・今年度末で1名の医師が退職する予定であるが、平成25年5月に1名の招聘医師(内科)を採用する予定。
大槌病院	3	1	— [—] (50)	92 [88] (145)	・常勤医師のうち、震災対応により採用した医師は1名。
山田病院	3		— [—] (37)	99 [69] (88)	・常勤医師のうち、震災対応により採用した医師は1名。
大東病院	2		— [—] (45)	50 [58] (93)	

※ 患者数はH24.4～10月までの実績である。([]内は、昨年度(H23.4～H24.3)の実績、()内は、一昨年度(H22.4～H23.2)の実績)

2 岩手県医師会 J M A T から山田病院への支援について

平成24年度(H24.4.1～H24.12.16)に支援をいただいた延日数は39日であり、延患者数130人、一日平均患者数は3.3人であった。(前年度：延日数45日、延患者数203人、一日平均患者数4.5人)

JMATからの支援は平成24年12月末で終了。支援終了後の平成25年1月以降については、山田病院において夜間及び休日の救急患者の受入れは休止。

3 宮古病院における宮古医師会からの支援について(平成25年6月末頃まで)

宮古医師会館の一部を改修して、平成25年4月から宮古医師会の休日診療所を開設する予定であったが、改修工事の工期が3ヶ月程度延長されるため、休日診療所の開設は、平成25年7月頃になる見込みであること。当該診療所開設までの間は、宮古病院に対する現状の支援を継続される。(毎週日曜日、日直相当時間帯の診療支援。)

4 臨床研修「被災地研修プログラム運用モデル事業」について

- 平成23年5月、東日本大震災津波の影響による医師不足を考慮した東海北陸厚生局から臨床研修のフレームを活用した岩手県への医師派遣の提案があり、諸調整の結果、**東海北陸厚生局の被災地域におけるモデル事業**として実施。
- 平成23年度は、9月から2月末までの間に東海北陸厚生局管内2年次研修医希望者(4**県11病院26名**)を本県沿岸研修病院で受入れた。

- **平成 24 年度は、4 県 7 病院に 25 名**の希望者があり、1 月 7 日現在までで下記のとおり 22 名の研修医を受け入れている。

派 遣 元	研修医数	期間 (週)	受 入 先
静岡県 聖隷浜松病院	1 2	2 4	県立釜石病院
沼津市立病院	2	8	未定 (県立大船渡病院予定)
愛知県 名古屋大学医学部附属病院	5	2 0	県立宮古病院
国立病院機構名古屋医療センター	2	4	県立釜石病院 (1 名 2w)
常滑市民病院	1	4	県立大船渡病院
岐阜県 大垣市民病院	1	4	県立宮古病院
三重県 三重県立総合医療センター	2	8	県立宮古病院 (1 名 4w) 県立釜石病院 (1 名 4 w)
計 4 県 7 病院	2 5 名 (決定 22 名)	7 2 週 (決定 62w)	3 病院

- 当該事業については、平成 26 年度末まで延長する方針。